

1年 数理科学コース 総合的な学習の時間「日本のエネルギー環境問題を考える」 校外学習 「あわじ環境未来島構想」勉強会を実施しました

2018年12月18日(火)に、総合的な学習の時間の校外学習の第2弾として、「あわじ環境未来島構想」の勉強会を淡路島島内で実施しました。

朝に学校に集合後、大型バスで淡路島に向かいました。まずは、淡路夢舞台国際会議場に到着後、会議室にて淡路県民局の環境未来島担当の職員2名をお招きして、「あわじ環境未来島構想」についての講演をいただきました。普段西宮市に住んでいる私達にとって、様々なことに驚きました。生徒の感想では「近年淡路の人口は年々減少しており、高齢者が多く占めているということを聞いて驚いた。」「持続可能な社会というものは、電気のエネルギーをいかにうまく使ったり作ったりすればいいのかということだと思っていたのですが、エネルギーだけでなく農や食の持続や、暮らしの持続などがあるということを知りました。」などが聞かれました。

この後、「持続可能な町『西宮市』をつくるために」をテーマにワークショップを行いました。最初に「ブレインストーミング」と「KJ法」の説明を簡単に行った後、グループワークを開始しました。付箋にどんどん意見を書いていく生徒たち。60分後にグループごとに発表してもらいました。発表では「観光名所をつくる」「有名人にPRしてもらう」「町のお祭りの活性化」など、高校生らしい発表が続きました。生徒の感想では「たくさんの意見がそれぞれの班から出ていて、まだまだすべきことはたくさんあるなと思いました。」「意外と案が集まって、自分たちが考えていなかったことも知れたりして、持続可能な町を目指すのに、必要なことを考えることができました。」「KJ法はいろんな案を出しやすく、案をまとめたりしやすかったので良い方法だと思いました。」などが聞かれました。

そして午後には、「淡路貴船太陽光発電所」の見学を行いました。発電所の代表取締役の方から、太陽光発電のパネルの角度の意味や、パワーコンディショナーや変圧方法などわかりやすく丁寧に教えていただきました。生徒の感想では「14万台もパネルが置かれていて、その規模に驚きました。」「太陽光発電をこんなに間近にみるのは初めてだったので、貴重な体験ができてよかったです。」「太陽光発電は発電量が少ないと思っていたが、自分が思っていたよりも発電量が多く、数をあわせることで他の発電に劣らないことを学んだ。」などの感想が聞かれました。

「持続可能な社会＝エネルギーの持続」という発想がどうしても出てしまいがちですが、あわじ環境未来島構想の学習をとおして、エネルギーだけでなく、農業や食の持続、生活の持続などいろいろな観点があることを知る非常にいい機会になったようです。



あわじ環境未来島構想 講演



ワークショップの発表の様子



淡路貴船太陽光発電所の見学